

週間漁海況情報—第26号

平成23年6月27日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

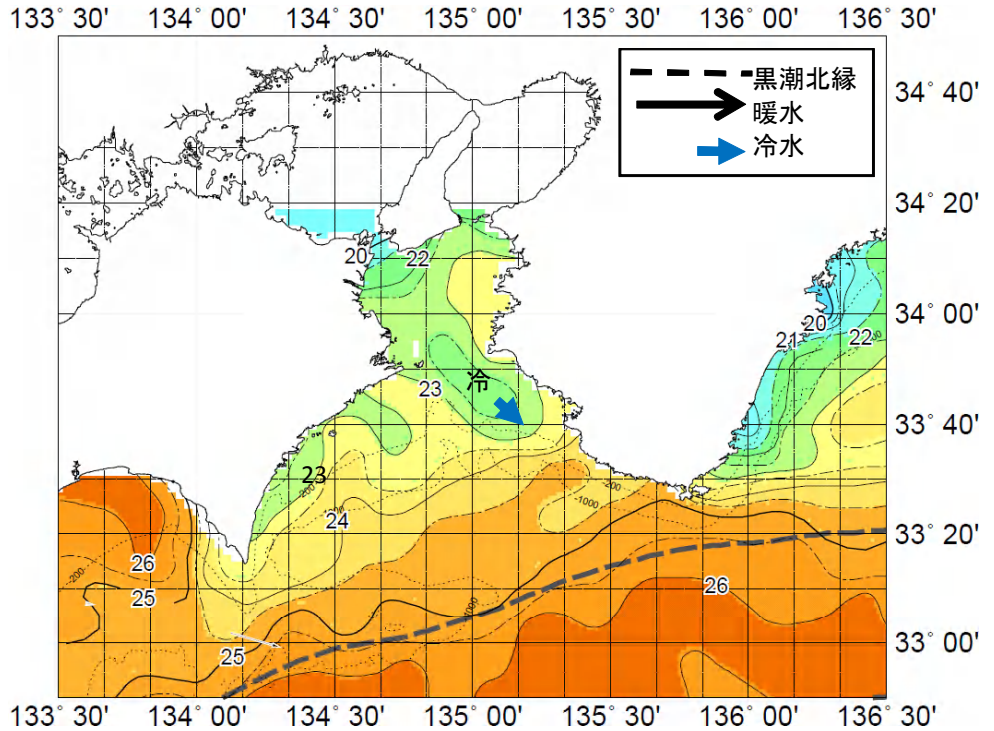
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.6.27）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

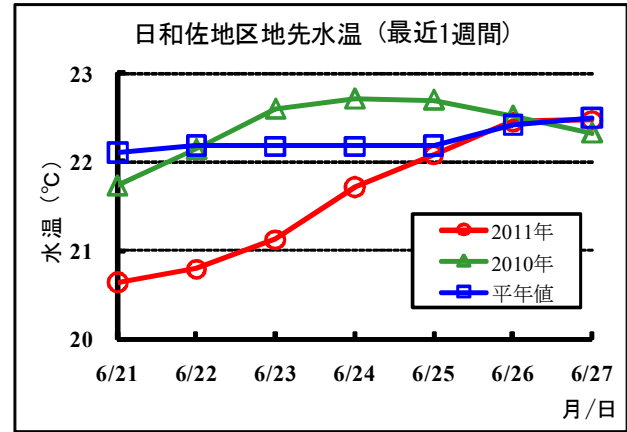
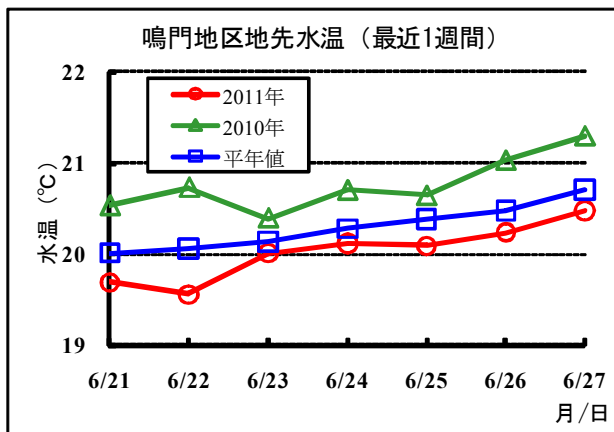
黒潮本流の表面水温は、25～26℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で19～20℃台、紀伊水道で19～23℃台、海部沿岸で22～24℃台である。



紀伊水道外域では、先週23日以降、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から黒潮系暖水が流入していたが、今週に入り弱まっている。この影響を受け、紀伊水道内から23℃以下の内海系水が南東方向に流出している。

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の19.6～20.5℃、日和佐地区で「低め」～「平年並み」の20.6～22.5℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の20.8～23.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸でカサゴが0.3トン（1日1隻当たり14kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、トビウオ類が0.2トン（同9kg）、小・小小主体にマアジが3.8トン（同132kg）、小小主体にサバ類が0.3トン（同11kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、特大主体にイサキが0.3トン（同34kg）、イワシ類が0.3トン（同43kg）、クロマグロが9本で0.4トン（同45kg）、小主体にゴマサバが2.4トン（同294kg）、小主体にシイラが13.0トン（同1.6トン）、小主体にスルメイカが0.5トン（同67kg）、ブリが0.4トン（同50kg）、メジロが0.3トン（同41kg）、マメ主体にマアジが6.6トン（同831kg）、中主体にマダイが0.2トン（同26kg）、マルソウダが0.7トン（同91kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で中主体にキハダが0.2トン（同54kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 6月20日～6月26日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カサゴ	20	279	14	
小型定置網		トビウオ類	25	221	9	
		マアジ	29	3,832	132	小・小小主体
		サバ類	30	336	11	小小主体
大型定置網		イサキ	8	274	34	特大主体
		イワシ類	8	342	43	
		クロマグロ	8	360	45	9本
		ゴマサバ	8	2,354	294	小主体
		シイラ	8	13,037	1,630	小主体
		スルメイカ	8	534	67	小主体
		ブリ	8	403	50	
		メジロ	8	331	41	
		マアジ	8	6,648	831	マメ主体
		マダイ	8	204	26	中主体
		マルソウダ	8	727	91	
	釣り	海部沖合	キハダ	4	215	54

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の20～21℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の22～23℃台で推移する見込み。